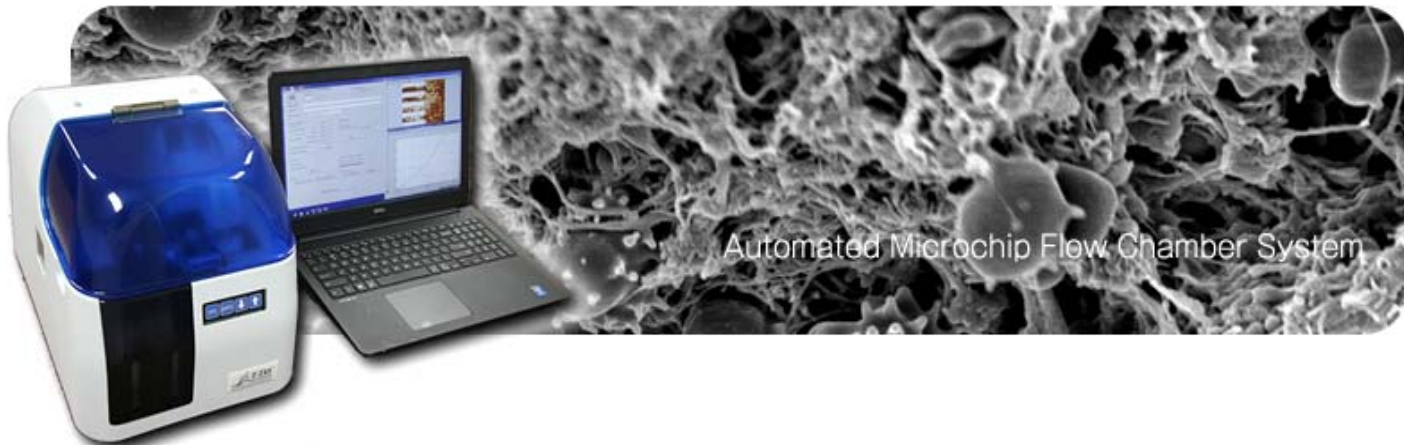


# T-TAS<sup>®</sup> plus

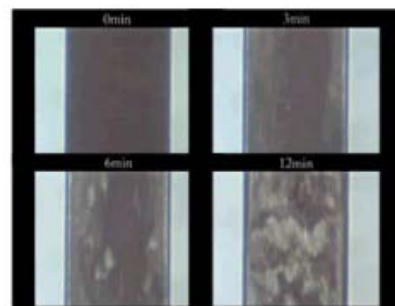
For Research Use Only



**T-TAS<sup>®</sup> plusは、動脈硬化病巣を模したチップ内における白色血栓形成の過程を血流下で総合的、且つ、定量的に解析する研究用観測解析システムです。**

## 特長

1. 白色血栓の成長速度や安定性を、圧力波形と圧力指標により定量評価できます。
2. CCDカメラにより、リアルタイムに視覚的に血栓形成を観察できます。
3. 少量の全血検体（約320～450  $\mu$ l）で測定が可能です。
4. 短時間（10分～30分）で測定が完了します。



マイクロスコープ画

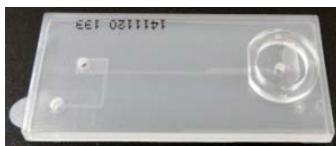
## 測定項目

2種のチップを用いた異なる血栓形成の評価が可能です。



PLチップ（チップ内にコラーゲンをコーティング）

用途：活性化血小板を主体とする血小板血栓形成の観測・解析



ARチップ（チップ内にコラーゲンと組織トロンボプラスチンをコーティング）

用途：フィブリンと活性化血小板を主成分とする混合白色血栓形成の観測・解析

## T-TAS<sup>®</sup> plus関連製品



リザーバー



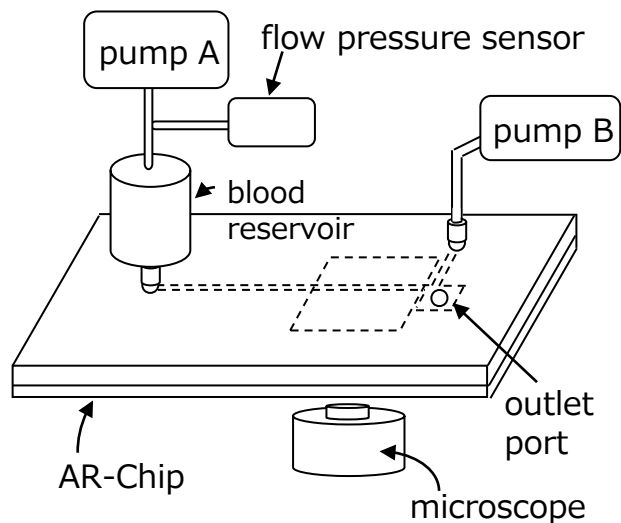
オーバーキャップ



廃液タンク

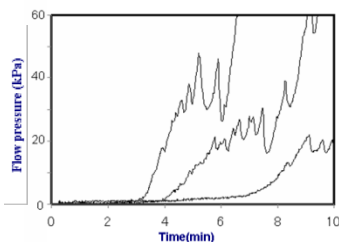
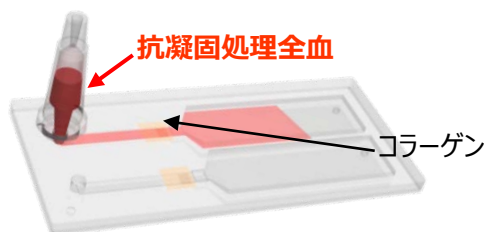
## ■測定原理

コラーゲンや組織トロンボプラスチンを固相化したチップ内の流路にポンプを用いて全血を流し込み、血栓が形成され流路が閉塞するまでのチップ内の圧力上昇をグラフにして連続的に記録します。得られた圧力波形から、閉塞開始時間・閉塞終了時間・血栓形成時間・圧力曲線下面積 (area under the flow pressure curve: AUC) などの血栓形成傾向と関連するパラメータを算出することができます。併せて、CCDカメラによって血栓形成をリアルタイムに視覚的に観察することもできます。

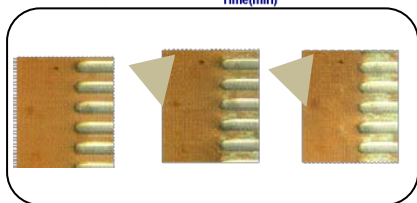


## ■各チップの測定概要と結果

**PLチップ**：血小板血栓形成の測定

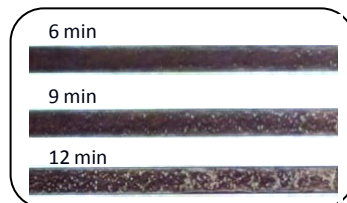
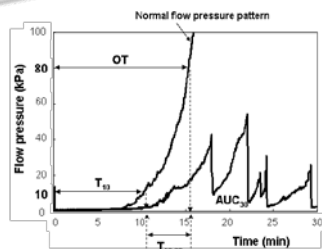


得られる圧力波形



CCDカメラによる、視覚観察

**ARチップ**：混合白色血栓形成の測定



## ■T-TAS<sup>®</sup>plus装置本体仕様

装置本体寸法	270 W x 380 D x 310 H (mm)
装置本体重量	約 13 kg
パソコン	ソフトウェア搭載 専用ノートパソコン Dell Latitude Laptop E3550 (OS Windows7 英語版 32bit)
フローシステム	フローポンプと圧力センサーを複数の固定プログラムにて動作制御
測定時間	ARチップ 30分以下 / PLチップ 10分以下
カメラ	動画解像度1024 X 768, MPEG

【製造販売元】

藤森工業株式会社



東京都新宿区西新宿1-23-7

【国内総販売代理店】

フィンガルリンク株式会社



東京都台東区元浅草2-6-6 東京日産台東ビル5F

Tel: 03-6802-7145 Fax: 03-6802-7156

E-mail: info@finggal-link.com